

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜 6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※実務者経験: シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. プロフィールシート作成ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	新社会人の心得を使用し復讐を行う。
2回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
3回目	10年後の目標の立て方
4回目	5年後の目標の立て方
5回目	3年後の目標の立て方
6回目	自分の世界観をまとめていく方法
7回目	キューブを使つてのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
8回目	セルフプレゼンテーション自主確認。
9回目	キューブを使つてのコミュニケーションワーク
10回目	自分の世界観をまとめていく方法、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
11回目	キューブを使つてのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
12回目	アンケート形式、プレゼンテーション、セルフプレゼンテーション自主確認。
13回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜 6限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる 4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる							

授業計画・内容	
1回目	新社会人の心得ワーク
2回目	ハートピーイングワーク
3回目	10年後の目標の立て方
4回目	5年後の目標の立て方
5回目	3年後の目標の立て方
6回目	自分の世界観をまとめていく方法
7回目	キューブを使っのコミュニケーションワーク
8回目	アンケート形式、プレゼンテーション
9回目	グループワークを活用し良い習慣を習得する
10回目	自分の世界観をまとめていく方法、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
11回目	キューブを使っのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
12回目	アンケート形式、プレゼンテーション、セルフプレゼンテーション自主確認。
13回目	ハートピーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 主にメジャーダイアトニックコードの復習にあわせサブドミナントマイナーコードについて、またコード進行制作とメロディーのアナライズを行う事により、楽曲制作の基礎を習得。Bluesなど特殊なコード進行についても学び、音楽の視野を広げる。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 ダイアトニックコードとノンダイアトニックコードを理解しコード進行制作ができる 楽曲のアナライズ(コード進行・メロディーライン)が行えるようになる							

授業計画・内容			
1回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得		
2回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得		
3回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う		
4回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う		
5回目	Ⅱ m7- V 7進行を習得		
6回目	Ⅱ m7(b5)- V 7(b9)進行を習得		
7回目	中間テスト		
8回目	Blues進行を習得		
9回目	Blues進行とJazz Bluesを習得		
10回目	Ⅱ m7- V 7を使用したコード進行についてを習得		
11回目	Ⅱ m7- V 7を使用したコード進行について実践できる		
12回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)①		
13回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)②		
14回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)③		
15回目	期末テスト		
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 主にメジャーダイアトニックコードについて、またコード進行制作の基礎を習得 〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 ダイアトニックコードの理解とコードトーンを理解 ダイアトニックコードを使用したコード進行を制作できるようになる							

授業計画・内容			
1回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得		
2回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコードを使ったコード進行と定番のコード進行を習得		
3回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード、コードトーンを使ったメロディーについてを習得		
4回目	Key of G・Dのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得		
5回目	Key of A・E・Fのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得		
6回目	メジャーダイアトニックコードについての復習		
7回目	中間テスト		
8回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、ディグリーネームを使った演		
9回目	#系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得		
10回目	b系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得		
11回目	sus4コードの紹介と使用法を習得		
12回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う		
13回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う		
14回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 〈講師プロフィール〉 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	マイクの種類について理解できる		
2回目	色々な種類のマイクを使った録音ができる		
3回目	音質(ビットレート)・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる		
4回目	オートメーションを書く(strings EQ) 拍子・BPMの切り替えができる		
5回目	自身の曲の曲作り		
6回目	自身の曲の歌どりが出来る		
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得		
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得		
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る		
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る		
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る(reverb他)		
12回目	①②③を実際に応用できる		
13回目	①②③を実際に応用できる		
14回目	これまでの授業の復習、応用		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容説明、DTMでの作業及び作曲の手順について、PCの立ち上げ、セッション作成、保存を理解できる		
2回目	Logic,GarageBand① 機能の説明/302講習 8の字巻きが出来る		
3回目	Logic,GarageBand② 機能の説明、ツールを理解出来る		
4回目	Logic,GarageBand③ 打ち込み練習(Drum)・トラックスタックを習得		
5回目	Logic,GarageBand④ 打ち込みが出来る(Drum,Bass)		
6回目	Logic,GarageBand⑤ 打ち込みが出来る(Drum,Bass,Piano)		
7回目	Logic,GarageBand⑥ 打ち込みが出来る(Drum,Bass,Piano,Guitar)		
8回目	Logic,GarageBand⑦ 打ち込みが出来る		
9回目	Logic,GarageBand⑦ Plug inの基本、説明(AUX,BUS)が理解できる		
10回目	Logic,GarageBand⑧ Plug inの説明(Reverbとその種類)が理解できる		
11回目	Logic,GarageBand⑨ Plug inの説明(Compressor,EQ)が理解できる		
12回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの復習		
13回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
14回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	金曜1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 〈講師プロフィール〉 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容説明、1学年の復習		
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る		
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る		
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る		
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る		
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る		
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る		
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る		
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる		
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる		
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる		
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる		
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析		
14回目	前期の授業の復習		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	金曜3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 〈講師プロフィール〉 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わっている。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	前期の授業の復習		
2回目	Logicを使った楽曲の制作①テーマ、コンセプトを理解する		
3回目	Logicを使った楽曲の制作②コード進行、メロディを理解出来る		
4回目	Logicを使った楽曲の制作③コード進行、メロディを理解出来る		
5回目	Logicを使った楽曲の制作④アレンジが出来る		
6回目	Logicを使った楽曲の制作⑤アレンジが出来る		
7回目	Logicを使った楽曲の制作⑥アレンジが出来る		
8回目	Logicを使った楽曲の制作⑦アレンジ、作詞を分析出来る		
9回目	Logicを使った楽曲の制作⑧アレンジ、作詞を分析出来る		
10回目	Logicを使った楽曲の制作⑨アレンジ、歌録りが出来る		
11回目	Logicを使った楽曲の制作⑩Mixが出来る		
12回目	Logicを使った楽曲の制作⑪マスタリングが出来る		
13回目	Logicを使った楽曲の制作⑫Mix、マスタリングが出来る		
14回目	後期の授業の復習		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	コンポジションプロジェクト I (Composition Project)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はマネージャー&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
【到達目標】 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うテラシーを習得する。 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容			
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認		
2回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
3回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
4回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
5回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
6回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
7回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
8回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
9回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
10回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンが出来る		
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	コンポジションプロジェクト I (Composition Project)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はマニピュレーター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
【到達目標】 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容			
1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する		
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る		
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る		
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり)企画の通ったグループから作品制作演習を行う		
5回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う		
6回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※企画書提出〆切		
7回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
8回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
9回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
10回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
11回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
12回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
13回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
14回目	【OC(質問事項)に対しての講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック		
15回目	【OC(質問事項)に対しての講義】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る		
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/イベントプロダクション プロジェクト	必修 選択	必修選択	年次	1・2・3年	担当教員	藤村典子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜 1限
【授業の学習内容】 マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネージメント・制作を行う。							
【到達目標】 番組制作に必要な各種イベント・コンサートの制作についての基礎知識を習得し、コンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	授業の説明。番組制作などに必要なイベント制作の基本的な概念を学ぶ。
2回目	イベンター(プロモーター)とアーティストマネージメントの関係。コンサートスタッフの仕事について学ぶ。
3回目	プロダクション・レコードメーカーでの業務について学ぶ。
4回目	野外フェスティバル(夏フェスetc)マネージャーとしてのかかわり方を学ぶ
5回目	楽器についての知識と必要性。用語、機材についての知識を習得
6回目	楽器についての知識と必要性。ドラムなどのセッティングを習得
7回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
8回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
9回目	現代のライブシーンを考察し、これからのライブ制作について学ぶ。
10回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
11回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
12回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
13回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題提出(50%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/イベントプロダクション プロジェクト	必修 選択	必修選択	年次	1・2・3年	担当教員	斎須 敏治
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日2.3限
【授業の学習内容】 アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※芸能プロダクションを経て、現在フリーランスとしてプロダクションの制作実務を行う。							
【到達目標】 プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。		
2回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
3回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
4回目	レコード会社のプロモーター基本編 アーティスト資料について学ぶ		
5回目	エイベックス創業者について学ぶ(映像視聴)		
6回目	秋元康のAKBプロジェクトを通じて、プロデュースについて学ぶ		
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
9回目	考える力・考える癖を つける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
10回目	考える力・考える癖を つける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
11回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
12回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出		
14回目	テスト		
15回目	総括		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度(10%) レポート(10%) 実地試験(80%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜5,6限
【授業の学習内容】 照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。 ※デライト株式会社(照明会社)所属。約30年照明担当として従事している。							
【到達目標】 照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習 瑞穂文化小劇場 劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習 振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜5,6限
【授業の学習内容】 照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。 ※デライト株式会社（照明会社）所属。約30年照明担当として従事している。							
【到達目標】 照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明、機材説明 舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクタの説明 巻き方 色について LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習Ⅰ 簡単な仕込み図の見方 書き方 調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成 調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備 役割分担
11回目	ホール演習準備 仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習 港文化小劇場 ホール説明 照明設備説明 前明かりのシュート
13回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	黒沼 美和
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 6	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜4～6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) オペレートだけではなく機材トラブルなどにも対処できるようにDMXなどの作成も行います。							
【到達目標】 トラブルにもすぐ対処できるのが目標です。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容の説明/機材,ケーブルの確認		
2回目	DMXの作り方について①		
3回目	DMXの作り方について②		
4回目	MA2の打ち込み確認①&データの作成の復習(チームを2つ作り卓チームとデータに分ける)		
5回目	MA2の打ち込み確認②&データの作成の復習(チームを2つ作り卓チームとデータに分ける)		
6回目	DMXの作成①		
7回目	DMXの作成②		
8回目	DMXの作成③(状況により、9回目10回目に延長)		
9回目	メンテナンスのやり方①ムービングのレンズの拭き方		
10回目	メンテナンスのやり方②ムービングのネタの変え方		
11回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成		
12回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成		
13回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成		
14回目	作ったデータで本番を想定したシミュレーション		
15回目	テスト		
準備学習 時間外学習			
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	黒沼 美和
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 6	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜1～3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ライブのムービングなどの仕込み図、DMX配線図の書き方。データの書きかた、きっかけの取り方やムービングに関わってくるDMXの基本的な作り方を身につけます。							
【到達目標】 音楽を聴き、データを作成、そのデータをもとに打ち込みが出来る様になるのが目標です。							

授業計画・内容			
1回目	挨拶/自己紹介/授業内容の説明		
2回目	仕込み図の見方/DMXの8の字巻き		
3回目	Qシート、データの書き方		
4回目	MA2の打ち込みかた①		
5回目	MA2の打ち込みかた②		
6回目	学園祭を終えて反省会/MA2の復習		
7回目	20C、DMXを分解。結線の確認		
8回目	DVDを見ながら明かりをデータ化してみる		
9回目	曲を聴いてQシート、データを作成①(15Qほど)皆同じ仕込み図		
10回目	曲を聴いてQシート、データを作成②(20Q以上)皆同じ仕込み図		
11回目	曲を聴いてQシート、データを作成③(30Q以上)皆同じ仕込み図		
12回目	DMXの作成や復習①		
13回目	DMXの作成や復習②		
14回目	前期の反省会/本番		
15回目	テスト		
準備学習 時間外学習	データを作成する時は好きな曲で大丈夫ですので、前もって曲を決めておいて下さい。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			